

平成 27 年度 (2015 年) 石油技術協会 春季講演会 シンポジウム・個人講演プログラム

地質・探鉱部門シンポジウム

深海成砂岩－最新の理解と探鉱開発

Deepwater Sandstones – the latest understandings and E&P

平成 27 年 6 月 10 日 (水) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 310 号室

シンポジウム統括：山根 一修 (JOGMEC)

シンポジウム運営：高山 邦明 (国際帝石)

事務局：小松 英雄・関口 航 (国際帝石)

セッション進行：峯崎 智成 (三井石開)・奥井 明彦 (出光興産)・原 彰男 (地科研)・片桐 啓 (伊藤忠石開)

高梨 将 (JOGMEC)・石橋 正敏 (JX 開発)

概要： 21 世紀に入り、高油価にも支えられて水深が 1,000 m を超える海域での石油の探鉱開発が活発に行われてきた。大水深域ではターゲットとなる貯留岩が過去の深海に堆積した砂岩であることがほとんどであり、探鉱開発の推進に伴い深海成砂岩に関する大量のデータが得られている。一方で地震探査による地下のイメージング技術の近年の進歩には目を見張るものがあり、高度な収録、処理技術により深海成砂岩の形状や内部構造が鮮明に可視化されるようになった。震探技術に支えられてこれまでハイリスクなプレイと考えられていた層位トラップの探鉱が盛んに進められたのも最近のトピックスであり、特にガーナの Jubilee 油田に代表される深海成砂岩の尖滅トラップが注目され、数多くの坑井が掘削された。こうした一連の探鉱開発により、深海成砂岩に対する堆積学的な理解が飛躍的に進み、堆積モデルが更新され、新たな探鉱開発手法が生み出されている。本シンポジウムは深海成砂岩に関する最新の理解やその探鉱開発の現状を様々な視点からレビューを行うことを目的とする。油価低迷の時代を迎えて、効率的な探鉱開発推進の一助になることも期待したい。

- 09:30 ~ 09:40 開会の辞…………… 探鉱技術委員長 高山 邦明 (国際帝石)
- (1) 09:40 ~ 10:40 基調講演「炭化水素貯留岩としての海底扇状地タービダイト:堆積モデル
・性状・トラップタイプの多様性と解析・モデリング手法の現状」…………… 高野 修 (石油資源)
- 10:40 ~ 11:00 <休憩>
- (2) 11:00 ~ 11:40 混濁流による海底チャネルの発達プロセス…………… 成瀬 元 (京大院・理)
- (3) 11:40 ~ 12:20 深海チャネル－自然堤防－海底扇状地システムの貯留岩形態
・根源岩ポテンシャルに関する最近の知見…………… 中嶋 健 (産総研)
- 12:20 ~ 13:30 <昼食・休憩>
- (4) 13:30 ~ 14:10 タービダイト堆積前進モデリングの動向と探鉱分野における応用
…………… 江川 浩輔・小島 啓太郎 (国際帝石)
- (5) 14:10 ~ 14:50 深海域で見られた地すべり堆積物:スロー MTD
…………… 鶴 哲郎・溝部 晃・田中 暁・田中 誠・佐藤 隆一 (JOGMEC)
- 14:50 ~ 15:00 <休憩>
- (6) 15:00 ~ 15:40 震探データ解析を用いた英国シェトランド沖深海成砂岩層の探鉱
…………… 岡本 誠司・常山 太・小谷 亮介・西塚 知久 (出光興産)
- (7) 15:40 ~ 16:20 Ichthys ガスコンデンセートフィールド・Brewster Member の貯留岩性状分布
と続成過程に関する考察…………… 市澤 恵爾・松井 良一・松井 裕之 (国際帝石)
- (8) 16:20 ~ 17:00 東部南海トラフにおけるメタンハイドレートの探査から分かってきたタービダイトの貯留層特性
…………… 藤井 哲哉・鈴木 清史・玉置 真知子・小松 侑平・高山 徳次郎 (JOGMEC)
- (9) 17:00 ~ 17:30 会場からのフィードバック
- 17:30 ~ 17:40 閉会の辞…………… シンポジウム統括 山根 一修 (JOGMEC)

作井部門シンポジウム
掘削オペレーションの成功と失敗から得た教訓
Lessons learned from Cases of Success and Failure of Drilling Operations

平成 27 年 6 月 10 日 (水) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 311 号室

世話人: 武村 貢・戸田 幹雄・日野 智之 (石油資源)・池田 正市・浦野 剛・田村 満夫 (国際帝石)・尾上 陽一 (JDC)・古谷 昭人 (MQJ)・福島 直哉 (出光興産)・佐藤 敬 (テルナイト)・長縄 成実 (東大院・工)・前田・啓彰 (JDC)・片岡 翔 (石油資源)

概要: 直接目で見ることでできない地下を相手に作業を進めなければならない作井技術者にとって失敗やトラブルはつきものです。坑井がますますハイスペック化する中、より難度の高い坑井や新しい技術課題への絶えざる挑戦が要求されており、技術の進歩はあるとはいえ、様々な陥穽が口を開けて我々を待ち構えている状況は今も昔も変わりありません。

今年度テーマは「失敗と成功」を取り上げました。失敗事例を講演することには抵抗があるかもしれませんが、失敗にこそ多く学ぶことがあります。エジソンの言葉に、「I am not discouraged, because every wrong attempt discarded is another step forward」というのがありますが、へこたれずに失敗を糧に新たな一步を踏み出すというのは作井技術者の心掛けにも通じるものと思います。失敗をリカバリーした事例、改善や成功のための方法論や取り組み等を講演者から紹介していただき、課題解決のプロセスや考え方を共有することを今回のシンポジウムの目標に設定し議論したいと思います。可能であれば、失敗や成功事例の技術的討論に留まらず、個人が持っている暗黙知を如何に形式知にし組織の知識として有効に利用するか、人材育成のあり方にまで発展した討議ができればと期待します。

- | | | |
|-------------------|--|---------------------|
| 09:00 ~ 09:10 | 開会の辞 | 作井技術委員長 武村 貢 (石油資源) |
| (1) 09:10 ~ 09:30 | 掘削作業におけるリスク評価とリスク管理 | 長縄 成実 (東大院・工) |
| (2) 09:30 ~ 10:50 | ニアミスから学ぶ | 小野寺 壮進・土井 英太郎 (JDC) |
| 10:50 ~ 11:00 | ＜休 憩＞ | |
| (3) 11:00 ~ 12:20 | ベトナム海洋における試掘井, 特に高温高圧坑井でのトラブルと得られた教訓 | 宗像 秀紀・山口 春輔 (出光興産) |
| 12:20 ~ 13:20 | ＜昼 食 ・ 休 憩＞ | |
| (4) 13:20 ~ 14:40 | 13-3/8" CSG 抑留の原因とその後の対処 | 浦野 剛・松井 耕二 (国際帝石) |
| 14:40 ~ 15:00 | ＜休 憩＞ | |
| (5) 15:00 ~ 16:20 | ライナーケーシングセットに纏わるトラブルから得た教訓 | 日野 智之 (石油資源) |

※本シンポジウムでは、従来のようなパネルディスカッションは行いません。

その代り、少人数グループによる聴講者同士の意見交換の場を(2)~(5)の各講演終了後に設けます。

具体的な実施方法はシンポジウム当日の掲示をご覧ください。また、各講演の開始・終了時間は意見交換の時間により多少前後することがあります。

開発・生産部門 個人講演 (1)

平成 27 年 6 月 10 日 (水) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 309 号室

- (1) 09:00 ~ 09:20 流動シミュレータと岩石力学シミュレータの統合手法の開発
..... 長澤 亮 (早大院・創造理工)・鳴釜 世耶 (早大院・創造理工 / 現 JDC)
栗原 正典 (早大・創造理工)・成田 英夫 (産総研)
- (2) 09:20 ~ 09:40 多成分系における分子拡散効果の定量評価
..... 大畑 朋也・上田 良・中野 正則・高橋 孝志 (石油資源)
- (3) 09:40 ~ 10:00 多点相関法によりカテゴリカル特性の分布を推定する地質統計学プログラム
およびその推定精度を遺伝的アルゴリズム等により向上するプログラムの開発
..... 青井 絵麻 (早大院・創造理工)・栗原 正典 (早大・創造理工)
- (4) 10:00 ~ 10:20 砂岩および炭酸塩岩における比抵抗と岩石物性の関係
..... 川浦 慶・羽入 明・三野 泰之・高橋 悟 (JOGMEC)
- (5) 10:20 ~ 10:40 実験および数値シミュレーションによる低塩分濃度水攻法のメカニズムの解明
..... 渡辺 潤・松本 健太郎 (早大院・創造理工)・栗原 正典 (早大・創造理工)
渡邊 和樹・土屋 慶洋 (JOGMEC)
- 10:40 ~ 10:50 < 休 憩 >
- (6) 10:50 ~ 11:10 原油価格の下落とシェールオイル採算を考える..... 伊原 賢 (JOGMEC)
- (7) 11:10 ~ 11:30 油田内常在微生物による残留原油のメタン変換回収研究
..... 五十嵐 雅之・若山 樹・前田 治男 (国際帝石)
真弓 大介・玉澤 聡・玉木 秀幸・坂田 将・鎌形 洋一 (産総研)
- (8) 11:30 ~ 11:50 ガス組成分析に使用するサンプリングバッグの留意点
..... 渋谷 健広・金田 英伯・坪谷 憲一 (国際帝石)
- (9) 11:50 ~ 12:10 原油・天然ガス生産における水銀への対応
..... 山田 淳也・川崎 緑・大塚 町恵・金田 英伯 (国際帝石)
- (10) 12:10 ~ 12:30 液体炭化水素に含まれる水銀の形態別分析
..... 川崎 緑・大塚 町恵・山田 淳也・金田 英伯 (国際帝石)
- 12:30 ~ 13:30 < 昼 食 ・ 休 憩 >
- (11) 13:30 ~ 13:50 由利原油ガス田におけるガス圧入 IOR 開始 ... 吉岡 克平・伊藤 秀生・山岸 裕幸 (石油資源)
- (12) 13:50 ~ 14:10 ガスフラッド実験およびシミュレーションによる極低浸透性岩石特性評価
..... 上田 良・赤工 浩平・中野 正則・菅沼 達也
切明畑 伸一 (石油資源)
- (13) 14:10 ~ 14:30 鉋路低浸透性試料を用いたコア分析技術向上のためのインハウススタディ
..... 下河原 麻衣・河野 文夫・三野 泰之 (JOGMEC)・内田 景己 (鉋路コールマイン)
- (14) 14:30 ~ 14:50 CO₂ の炭層圧入を目的とした石灰の膨潤特性の検討
..... 飯野 宏高 (九大・工)・菅井 裕一・佐々木 久郎 (九大院・工)
- (15) 14:50 ~ 15:10 SAGD 法を用いたオイルサンド層からのピチュメン生産における水蒸気
・メタン同時圧入に関する数値シミュレーション
..... 古賀 義貴・佐々木 久郎・菅井 裕一 (九大院・工)
- (16) 15:10 ~ 15:30 オイルサンド層への原位置燃焼法の適用における反応速度モデルの構築
..... 高津 恭一・佐々木 久郎・菅井 裕一 (九大院・工)
- 15:30 ~ 15:50 < 休 憩 >
- (17) 15:50 ~ 16:10 バイオスティミュレーション型微生物 EOR に関するコア掃攻実験
..... 齋藤 稔・菅井 裕一・佐々木 久郎 (九大院・工)
山口 裕之 (石油資源)・川村 太郎・佐藤 朋之 (中外テクノス)・山下 信彦 (大阪ガス)
田丸 温・田中 勝哉 (JOGMEC)

- (18) 16:10 ~ 16:30 ナノスケール CO₂ 多孔質内移動現象の X 線可視化
 …… 植村 豪 (東工大院・理工)・間瀬 大幾 (東工大)・平井 秀一郎 (東工大院・理工)
- (19) 16:30 ~ 16:50 繰り返しラテン超方格法の解探索能力の向上と CO₂ 地中貯留における
 坑井配置最適化問題への適用 …… 田中 啓・佐藤 光三 (東大院・工)
- (20) 16:50 ~ 17:10 水と CO₂ エマルジョンの交互圧入によるハイドレート生成に関する実験的研究
 …… 小出 宇人・飯田 貴幸・荒川 英一・佐々木 貴史・増田 昌敬 (東大院・工)
 長尾 二郎 (産総研)
- (21) 17:10 ~ 17:30 CO₂ の溶解を考慮した CO₂-水エマルジョン流動時のハイドレート生成挙動のモデル化
 …… 梅田 和紀・佐々木 貴史・増田 昌敬・長縄 成実 (東大院・工)
 長尾 二郎 (産総研)
- (22) 17:30 ~ 17:50 N₂-CO₂ 混合ガス圧入によるメタンハイドレートのガス置換プロセスの相挙動予測
 …… 安江 正宏・山本 康平・長縄 成実・増田 昌敬 (東大院・工)

開発・生産部門 個人講演 (2)

平成 27 年 6 月 10 日 (水) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 4 階 402 号室

- (1) 09:00 ~ 09:20 FLASS を用いた等温降圧実験におけるアスファルテン析出圧力の考察
 …… 宮川 喜洋・渡辺 拓己・米林 英治 (国際帝石)
- (2) 09:20 ~ 09:40 難開発油田へのガス EOR 適用関連要素技術:酸性ガス圧入時の
 アスファルテン析出リスクの数値モデル評価 …… 米林 英治・高林 克百・飯塚 諒 (国際帝石)
- (3) 09:40 ~ 10:00 分子動力学法によるアスファルテン除去剤の選定について
 …… 日比 隆太郎・Yunfeng Liang・村田 澄彦・松岡 俊文 (京大院・工)
 中嶋 秋 (国際帝石)
- (4) 10:00 ~ 10:20 CO₂ を含む油送用フローラインの沈殿物下の腐食事例
 …… 清水 誠・栗田 宏幸・巴 保義・平野 奨 (国際帝石)
- (5) 10:20 ~ 10:40 IAM (油層-坑井-生産施設統合モデル)の活用事例 …… 鳴見 竜太・伊藤 徹 (国際帝石)
- 10:40 ~ 10:50 <休憩>
- (6) 10:50 ~ 11:10 X 線 CT を用いた流動実験と数値モデリングによるバグを有する炭酸塩岩の流体流動特性の評価
 …… 草薙 輝・渡邊 則昭 (東大院・環境科学)・島津 崇・八木 正彦 (石油資源)
- (7) 11:10 ~ 11:30 原油物性値の把握を目的とした Digital Oil の作成
 …… 杉山 俊平 (京大・工)・梁 云峰 (京大院・工)・森本 正人 (産総研)
 中野 正則 (石油資源)・村田 澄彦・松岡 俊文 (京大院・工)
- (8) 11:30 ~ 11:50 石油増進回収技術への応用を目的とした固液界面における吸着構造解析
 …… 立山 優 (京大・工)・片所 優宇美・村田 澄彦・梁 云峰
 松岡 俊文 (京大院・工)・蜂谷 寛 (京大院・エネ科)・福中 康博 (早大・ナノ理工)
 三野 泰之・下河原 麻衣 (JOGMEC)
- (9) 11:50 ~ 12:10 セルローズナノファイバーの石油開発用増粘剤への適用性について
 …… 草薙 和也・村田 澄彦 (京大院・工)・後居 洋介・神野 和人
 佐飛 峯雄 (第一工業製薬)・加藤 是威・富樫 嗣彦 (JOGMEC)
- (10) 12:10 ~ 12:30 単一フラクチャー内における原油掃攻撃動の圧力依存性について
 …… 尾島 亮誠 (京大院・工)・千歳 翔大 (京大院・工/現石油資源)
 村田 澄彦 (京大院・工)
- 12:30 ~ 13:30 <昼食・休憩>
- (11) 13:30 ~ 13:50 シェールガス開発のためのナノ空隙内ガス流動の分子動力学シミュレーション
 …… 岡本 直樹 (京大・工)・Yunfeng Liang・本田 博巳・村田 澄彦
 松岡 俊文 (京大院・工)・赤井 崇嗣・高木 是 (JOGMEC)

- (12) 13:50 ~ 14:10 CCSに係る残留ガス飽和率評価法としての自然吸水法の検討
 …………… 村田 澄彦 (京大院・工)・赤工 浩平・中野 正則・上田 良 (石油資源)
- (13) 14:10 ~ 14:30 ケロジェン中のナノポアにおけるCH₄の吸着現象の分子動力学的検討
 …………… 澤 侑乃輔・Yunfeng Liang・本田 博巳・村田 澄彦・松岡 俊文 (京大院・工)
 赤井 崇嗣・高木 是 (JOGMEC)
- (14) 14:30 ~ 14:50 流線モデルを用いた東新潟水溶性天然ガス貯留層における生産および還元の挙動解析
 …………… 安養寺 友彦 (秋大・工学資源)・藤井 光 (秋大・国際資源)
 満田 信一 (三菱ガス化学)
- (15) 14:50 ~ 15:10 茂原型水溶性天然ガス田の生産ガス水比上昇要因の評価
 …………… 西坂 薫 (秋大院・工学資源)・尾西 恭亮 (秋大・国際資源)
 藤井 光 (秋大・国際資源)・黒嶋 章太・大庭 慶一・能條 学・樋口 康則 (合同資源)
- (16) 15:10 ~ 15:30 女川層の珪質頁岩における低圧窒素ガス吸着による細孔径分布の評価
 …… 阿部 一徳・広瀬 暉二 (秋大院・工学資源)・尾西 恭亮・藤井 光 (秋大・国際資源)
- 15:30 ~ 15:50 <休憩>
- (17) 15:50 ~ 16:10 石油天然ガス開発におけるビッグデータ技術の適用可能性について
 …………… 澤口 貴士・下野 祐典・高市 和義 (CTC)
- (18) 16:10 ~ 16:30 秋田・福米沢タイトオイル開発における水圧破碎デザイン-ジオメカニカルパラメータの評価-
 …………… 玉川 哲也 (石油資源)・山下 裕士 (JOGMEC)
- (19) 16:30 ~ 16:50 秋田・福米沢タイトオイル開発における水圧破碎デザイン-圧入テストおよび解析-
 …………… 上辻 良平・羽賀 健介・吉岡 克平・玉川 哲也 (石油資源)
 山下 裕士・國枝 真 (JOGMEC)
- (20) 16:50 ~ 17:10 秋田・福米沢タイトオイル開発における水圧破碎デザイン-水圧破碎デザインの適正化-
 …………… 志賀 紀彦・羽賀 健介・吉岡 克平・玉川 哲也 (石油資源)
 山下 裕士・國枝 真 (JOGMEC)
- (21) 17:10 ~ 17:30 油・ガス生産に伴う貯留層圧密挙動を理解するためのジオメカ連成解析の利用
 …………… 芦田 彬久・柏原 功治 (石油資源)
- (22) 17:30 ~ 17:50 南長岡ガス田 生産井におけるパッカー故障事例
 …………… 丸田 秀幸・飯野 敦・萬 泰一・砂場 敏行 (国際帝石)
- (23) 17:50 ~ 18:10 WAG最適化のための数値計算によるケーススタディ
 …………… 高橋 蓉子・中野 正則・高橋 孝志 (石油資源)・伊藤 大輔 (JPO)

地質・探鉱部門 個人講演 (1)

平成 27 年 6 月 11 日 (木) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 309 号室

- (1) 10:00 ~ 10:20 石油探鉱のゲーム理論 (1) ゲーム理論とは? - 石油生産を例にとって…………… 井上 正澄
- (2) 10:20 ~ 10:40 石油探鉱のゲーム理論 (2) 探鉱戦略への応用 …………… 井上 正澄
- (3) 10:40 ~ 11:00 方解石双晶の応力解析…………… 山路 敦 (京大院・理)
- 11:00 ~ 11:20 < 休 憩 >
- (4) 11:20 ~ 11:40 秋田県矢島地域の女川層のシリカ鉱物岩石結構と孔隙の消長
…………… 本田 博巳・澤 侑乃輔・堂垂 達也・松岡 俊文 (京大院・工)
横井 悟・辻 隆司 (石油資源)
- (5) 11:40 ~ 12:00 秋田県中新統女川層の底生有孔虫化石群集と石油根源岩性状
…………… 三輪 美智子・黒川 将貴・東 将士・横井 悟 (石油資源)
- (6) 12:00 ~ 12:20 南桑山 TT-1 坑井における坑壁画像検層データとコア試料の活用
…………… 小平 千尋 (国際帝石)・モレリ 智晶 (シュルンベルジェ)
- 12:20 ~ 13:20 < 昼 食 ・ 休 憩 >
- (7) 13:20 ~ 13:40 モントニー・タイトガス層のパイロビチューメン測定とその意義
… 秋久 國男 (JOGMEC)・Hamed Sanei・Omid Haeri Ardakani (カナダ地質調査所・カルガリー)
内田 真之介 (DGMC)
- (8) 13:40 ~ 14:00 モントニー・タイトガス層の浸透率解析
……………秋久 國男・赤井 崇嗣・下河原 麻衣 (JOGMEC)・James M. Wood (Encana)
内田 真之介 (DGMC)
- (9) 14:00 ~ 14:20 モントニー・タイトガス層の地震探査データを用いたスイートスポット探査
…………… 加藤 文人・毛利 拓治 (JOGMEC)・Mike de Groot・山本 勝也 (Encana)
内田 真之介 (DGMC)
- 14:20 ~ 14:40 < 休 憩 >
- (10) 14:40 ~ 15:00 多孔質からの排水過程における非湿潤相飽和率
…………… 末包 哲也・斎藤 裕亮 (東工大・創造エネルギー)
- (11) 15:00 ~ 15:20 インドネシア北東ジャワにおける炭酸塩貯留層の分類 - 特にフラクチャーに注目して -
…………… 八木 正彦・島津 崇 (石油資源)

地質・探鉱部門 個人講演 (2)

平成 27 年 6 月 11 日 (木) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 4 階 402 号室

- (1) 10:00 ~ 10:20 夕張地域に露出する始新統石炭・炭質泥岩のビトリナイト反射率の広域的变化
…………… 堀 耀太・古浦 正太郎・鈴木 徳行 (北大・理)
- (2) 10:20 ~ 10:40 スリランカ沖マナール盆地における白亜紀から中新世にかけての堆積環境と
天然ガス / 石油根源岩の評価…………… アミラ ラトナヤケ・三瓶 良和 (島根大・総合理工)
- (3) 10:40 ~ 11:00 背弧リフトの短縮変形プロセス: 秋田堆積盆地を例として
…………… 阿部 紫織・佐藤 比呂志 (東大・地震研)・稲葉 充 (石油資源)
加藤 直子・石山 達也 (東大・地震研)・野 徹雄・小平 秀一 (JAMSTEC)
- 11:00 ~ 11:20 < 休 憩 >
- (4) 11:20 ~ 11:40 新潟県津川盆地の中新世シンリフト堆積物におけるサイクル性の検討
…………… 成沢 紗也佳 (新大院・自然科学)・栗田 裕司 (新大・理)

- (5) 11:40 ~ 12:00 秋田県峰浜地域に分布する天徳寺層－笹岡層の岩相層序と堆積環境
 – mid-Pliocene warmth と関連して –
 …………… 治田 哲 (秋大・工学資源)・山崎 誠・佐藤 時幸 (秋大・国際資源)
- (6) 12:00 ~ 12:20 新潟県北部の新発田－小出構造線 (その1) 村上付近の震探解釈
 …………… 成沢 紗也佳 (新大院・自然科学)・栗田 裕司・豊島 剛志 (新大・理)
- 12:20 ~ 13:20 < 昼 食 ・ 休 憩 >
- (7) 13:20 ~ 13:40 新潟県北部の新発田－小出構造線 (その2) 再活動期の運動
 …………… 栗田 裕司・豊島 剛志 (新大・理)・成沢 紗也佳 (新大院・自然科学)
- (8) 13:40 ~ 14:00 宮城県～福島県沖海域の地質構造とその発達過程の特徴:
 東北日本陸域の地体構造との関連について …………… 荒戸 裕之・千代延 俊 (秋大・国際資源)
- (9) 14:00 ~ 14:20 福島沖阿武隈リッジの断層の形態と特徴:阿武隈リッジ南部 3D 地震探査データから
 …………… 千代延 俊・荒戸 裕之 (秋大・国際資源)
- 14:20 ~ 14:40 < 石油技術協会 優秀発表賞 表彰式 >
- (10) 14:40 ~ 15:00 地殻構造探査「2014 年かほく－砺波測線」による富山堆積盆地の構造
 …………… 石山 達也・佐藤 比呂志・加藤 直子・蔵下 英司 (東大・地震研)
 越谷 信 (岩手大・工)・戸田 茂 (愛知教育大・教育)・小林 健太 (新大・理)
 野 徹雄・佐藤 壮・小平 秀一 (JAMSTEC)・白石 和也 (地科研/現 JAMSTEC)
 東中 基倫・阿部 進 (地科研)
- (11) 15:00 ~ 15:20 反射法地震探査による北陸～鳥取沖の震源断層調査
 …………… 佐藤 比呂志・加藤 直子・石山 達也 (東大・地震研)
 白石 和也 (地科研/現 JAMSTEC)・阿部 進 (地科研)
- (12) 15:20 ~ 15:40 「島根・山口沖」三次元地震探査データを用いた震探相・シーケンス層序解釈
 …………… 宮本 広樹・江川 浩輔・坂田 玄輝・阿部 洋祐・松浦 紳二・今村 哲己
 原 尊照・阿久津 亨 (国際帝石)

作井部門 個人講演

平成 27 年 6 月 11 日 (木) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 311 号室

- (1) 09:00 ~ 09:20 大水深 MPD 掘削オペレーションとデザイン手法 …………… 黒田 佳宏・五賀 友継 (国際帝石)
- (2) 09:20 ~ 09:40 コイルチューピングを用いたパーフォレーションの紹介…………… 橋本 博之 (Halliburton)
- (3) 09:40 ~ 10:00 ERD 井におけるワイヤーライン・スリックラインによる計測技術
…………… 大村 亮太・波多 哲・中台 真人 (物理計測)
- (4) 10:00 ~ 10:20 大深度水平井掘削におけるトルク低減策
…………… 坂本 浩之・佐々木 学・大谷 正・和気 沙織 (石油資源)
- 10:20 ~ 10:30 < 休 憩 >
- (5) 10:30 ~ 10:50 傾斜坑井掘削時の泥水検層におけるカッティングスラグ深度の分布の評価
…………… 長縄 成実 (東大院・工)・池田 憲治・及川 敦司 (JOGMEC)
- (6) 10:50 ~ 11:10 タービン駆動コアリングシステムの陸上コアリング試験
…………… 宮崎 英剛・眞本 悠一・秋山 敬太・許 正憲 (JAMSTEC)
- (7) 11:10 ~ 11:30 石油傾斜井の km 級深度における原位置の地殻応力評価へのコア変形法の適用
…………… 伊藤 高敏・三上 央 (東北大・流体科学研)・船戸 明雄 (深田地質研)
玉川 哲也 (石油資源)
- (8) 11:30 ~ 11:50 X 線 CT を利用した未固結砂層の破壊と出砂の室内実験
…………… 松原 大樹・伊藤 高敏 (東北大・流体科学研)・長野 優羽 (JOGMEC)
- 11:50 ~ 12:50 < 昼 食 ・ 休 憩 >
- 12:50 ~ 13:00 < 石油技術協会 優秀発表賞 表彰式 >
- (9) 13:00 ~ 13:20 秋田・福米沢油田タイトオイルにおける水平坑での多段フラクチャリング作業について
…………… 乗岡 孝男・井之脇 隆一・志賀 紀彦・羽賀 健介 (石油資源)
- (10) 13:20 ~ 13:40 福米沢多段フラクチャリング水平井の坑跡計画について
…………… 安武 剛太・片岡 翔・乗岡 孝男 (石油資源)
- (11) 13:40 ~ 14:00 秋田・福米沢油田タイトオイル実証試験に伴う環境モニタリング (主に水質調査) について
…………… 山岸 裕幸・井之脇 隆一 (石油資源)
- 14:00 ~ 14:20 < 休 憩 >
- (12) 14:20 ~ 14:40 HDD 工法によるピンポイントコントロール掘削 …… 君川 俊・下田 雅一・今井 健太 (JDC)
- (13) 14:40 ~ 15:00 南海付加体掘削における泥水による孔内安定化への挑戦
…………… 藤井 壘 (テルナイト)・上村 義則 (JAMSTEC)
- (14) 15:00 ~ 15:20 CCS 観測井, 圧入井の改修作業, 掘削作業で導入された技術紹介
…………… 黒田 耕平・若月 基・青木 徹・伊東 俊充 (石油資源)
- (15) 15:20 ~ 15:40 東南アジア大水深鉞区評価井掘削作業結果…………… 松井 耕二・藁谷 達彦 (国際帝石)
- 15:40 ~ 15:50 < 休 憩 >
- (16) 15:50 ~ 16:10 JOGMEC が実施している IADC WellCAP ウェルコントロール講座の
カリキュラム変更について…………… 稲田 徳弘・宅間 之紀・荒木 友佳子 (JOGMEC)
- (17) 16:10 ~ 16:30 JOGMEC 新規講座「掘削クルーコース」の紹介
…………… 及川 敦司・稲田 徳弘 (JOGMEC)・福嶋 睦夫・白倉 由紀夫・高本 哲治
今長谷 創太 (JDC)
- (18) 16:30 ~ 16:50 新造ジャッキアップリグ HAKURYU-12, HAKURYU-14 & 15 (仮称) の紹介 …… 前田 啓彰 (JDC)
- 16:50 ~ 17:00 閉会の辞…………… 作井技術委員長 武村 貢 (石油資源)

開発・生産部門シンポジウム
 海洋開発の今 ～技術課題・HSE への取り組み～
 Technical and HSE Challenges for Offshore Field Development

平成 27 年 6 月 11 日 (木) 国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 3 階 310 号室

世話人: 松原 修 (JOGMEC)・寺本 哲郎 (国際帝石)・渡邊 一成 (石油資源)・大西 豪 (三井石開)
 廣島 英樹 (アブダビ石油)

概要: 近年、開発がしやすく市場への搬出も容易な、いわゆる「イージーオイル」の権益確保は次第に困難になっており、大水深域の油ガス田や非在来型資源等が開発対象として注目されてきているが、これらの開発は相対的に高コストであるが故に、技術開発による生産性の改善や開発計画の最適化によりプロジェクトの経済性を向上させることが極めて重要になってくる。同時に、石油ガス開発事業に適用される環境基準や要求される環境対策は年々高いものになってきており、HSE 関連の取り組みは今や不可欠な要素である。特に環境にセンシティブで操業技術の高度化が進む大水深開発に於いては、その状況変化はより顕著であり、包括的な取り組みが求められているところである。このような現状認識の下、本シンポジウムでは海洋油ガス田開発に焦点を当てて、回収率向上を含む開発の最適化、新技術の研究開発と適用可能性の検討、および HSE 関連の取り組み等を紹介し、知見を共有するとともに活発な議論を行いたい。

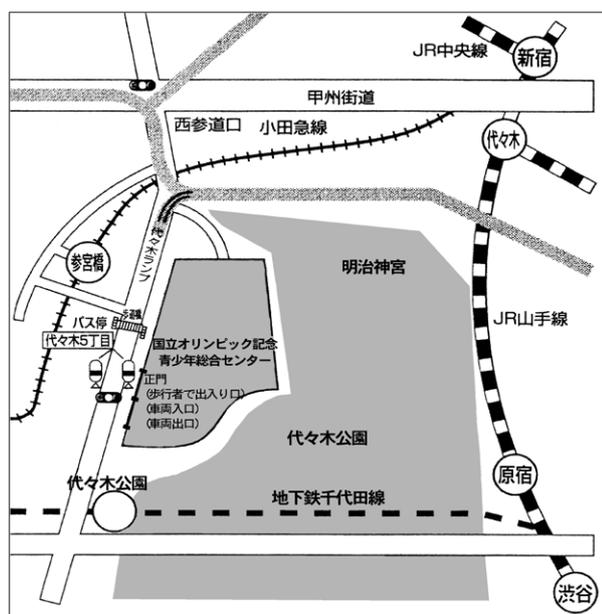
- | | |
|-------------------|---|
| 09:00 ~ 09:10 | 開会の辞..... 生産技術委員長 大下 敏哉 (国際帝石) |
| (1) 09:10 ~ 09:50 | カタール沖合における高濃度 H ₂ S を含む中小油田の開発
..... 内山 亮二・山本 亮一 (コスモエネルギー開発)・井立田 修
石井 啓史 (カタール石開)・Younes Messaoud・Nayef Al-Hajri (Qatar Petroleum) |
| (2) 09:50 ~ 10:30 | アブダビ海上の環境保護地域における坑井テスト
..... 倉又 秀祥・田中 学・富永 直弘・岡本 武治 (アブダビ石油) |
| 10:30 ~ 10:40 | < 休 憩 > |
| (3) 10:40 ~ 11:20 | メキシコ湾大水深域の生産油田における回収率向上への取り組み
..... 石原 直人・新粥 岳彦・五十嵐 哲・高島 幸作 (JX 開発) |
| (4) 11:20 ~ 12:00 | 海洋油・ガス田開発におけるハイドレート対策に関する検討事例..... 芦川 浩太 (国際帝石) |
| 12:00 ~ 12:05 | < 石油技術協会 優秀発表賞 表彰式 > |
| 12:05 ~ 13:15 | < 昼 食 ・ 休 憩 > |
| (5) 13:15 ~ 13:55 | 海洋石油・天然ガス開発と環境対策 - 授業と研究の紹介..... 栗原 正典 (早大・創造理工) |
| (6) 13:55 ~ 14:35 | 北海油田における MEOR の適用に関する基礎的研究
..... 菅井 裕一・小松 圭太・佐々木 久郎 (九大院・工)
Kristian Mogensen・Martin Vad Bennetzen (Mearsk Oil Research & Technology Centre) |
| 14:35 ~ 14:45 | < 休 憩 > |
| (7) 14:45 ~ 15:25 | オフショア石油・ガス処理施設建設プロジェクトにおける安全設計..... 荻原 瑠 (日揮) |
| (8) 15:25 ~ 16:05 | パゲルンガン & TSB 海洋ガス田の開発・生産 - フィールドライフを通じた HSE の重要性 -
..... Ahmad Buniyamin・Darmansyah Daud Yusuf・Irhas Handoyo (Kangean Energy Indonesia)
熊崎 嘉人 (三菱商事石開)・田中 啓誉 (石油資源) |
| (9) 16:05 ~ 16:45 | 海洋プロジェクトにおける HSEMS (HSE マネジメントシステム) の運用について
..... 米澤 哲夫・FEYEN HENDRIK EMILE・高田 義人
KANNAN SIVANESWARAN・AHMED SAEED (国際帝石) |
| 16:45 ~ 16:55 | 閉会の辞..... 松原 修 (JOGMEC) |

総会・懇親会・講演会 会場案内図

会場	カルチャー棟 小ホール (1階)	国際交流棟 レセプションホール	センター棟 306号室
6月9日(火)	13:00～ 総会 特別講演会	18:00～ 懇親会	総合受付 (事務局)

会場 (センター棟)	310号室	311号室	309号室	402号室	306号室
収容人数	160人	160人	160人	120人	40人
6月10日(水)	9:30～17:40 地質・探鉱 シンポジウム	9:00～16:20 作井 シンポジウム	9:00～17:50 開発・生産 個人講演(1)	9:00～18:10 開発・生産 個人講演(2)	総合受付 (事務局)
6月11日(木)	9:00～16:55 開発・生産 シンポジウム	9:00～17:00 作井 個人講演	10:00～15:20 地質・探鉱 個人講演(1)	10:00～15:40 地質・探鉱 個人講演(2)	総合受付 (事務局)

交通案内



- 東京駅から
JR中央線 約14分 新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車
徒歩約7分
- 羽田空港から
東京モノレール 約23分 浜松町駅乗り換え
JR山手線(外回り) 約23分 新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車
徒歩約7分
- 成田空港から
JR総武線 成田エクスプレス 約80～90分
新宿駅乗り換え
小田急線 各駅停車 約3分 参宮橋駅 下車
徒歩約7分
- 小田急線
参宮橋駅下車 徒歩約7分
- 地下鉄千代田線
代々木公園駅下車
(代々木公園方面4番出口) 徒歩約10分
- 京王バス
新宿駅西口(16番)より 代々木5丁目下車
渋谷駅西口(14番)より 代々木5丁目下車

